

神戸税関を作ろう！

神戸税関 3代目庁舎 組立説明書

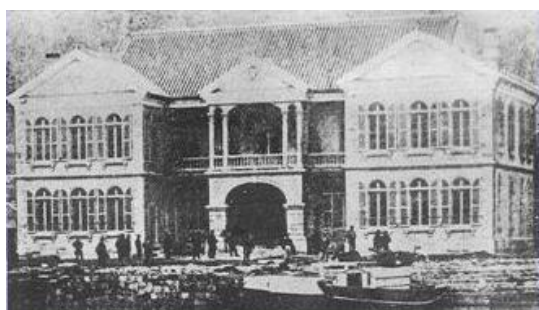


神戸税関庁舎のルーツは、明治6年12月に完成した初代庁舎、昭和2年3月に完成した二代目庁舎、及び平成10年11月に二代目庁舎を残しながら完成した三代目庁舎が現在の庁舎となっています。

神戸税関庁舎は平成5年に「神戸建築百選」に選ばれてから現在まで、数々の賞を受賞していますので主なものを紹介します。

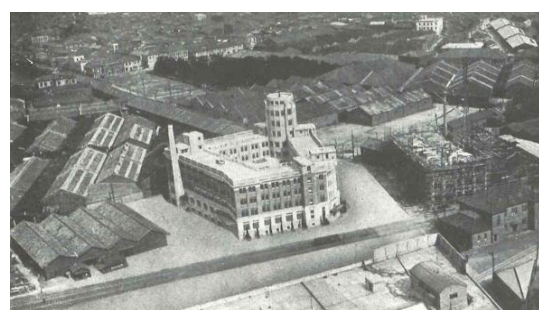
- ・ 第41回建築業協会賞（BCS賞）（2000年11月受賞）
- ・ 第9回公共建築賞（近畿地区優秀賞）（2004年6月受賞）
- ・ 第9回公共建築賞（優秀賞）（2004年11月受賞）
- ・ 神戸市建築文化賞（建築文化部門）（2005年2月受賞）
- ・ 近代化産業遺産（2007年11月認定）
他「神戸景観ポイント賞」、「建築・設備維持保全推進協会（BELCA賞）ベストリフォーム部門賞」、「JIA環境建築賞」など。

初代庁舎



明治5年(1872年)2月着工
翌年12月完成
大正11年2月19日、不慮の失火で焼失。

二代目庁舎



大正12年4月14日着工
昭和2年(1927年)4月14日完成
平成7年1月17日の阪神淡路大震災後、建て替え。

準備

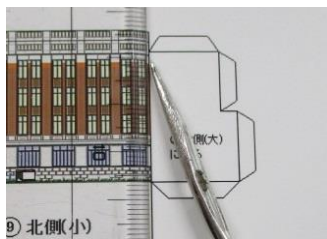
1. 先にすべての紙に折り目を付けます。
折り目はものさしと千枚どおしなどで付けます。
位置が分からないときは切り取った後で付けてください。
折り目は「1.各部品を組み立てる」でご確認ください。

赤線は山折り、水色線は谷折りです。

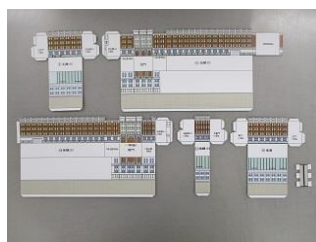
2. 次にパーツを切り取ります。

3. 屋根のひさしを取り付ける部分を切り抜きます。

⑭南側(大)、②壁面(正門)、⑥壁面(東門)の3か所
黄線を切り抜いてください。



折り目を付ける。



切り取る。

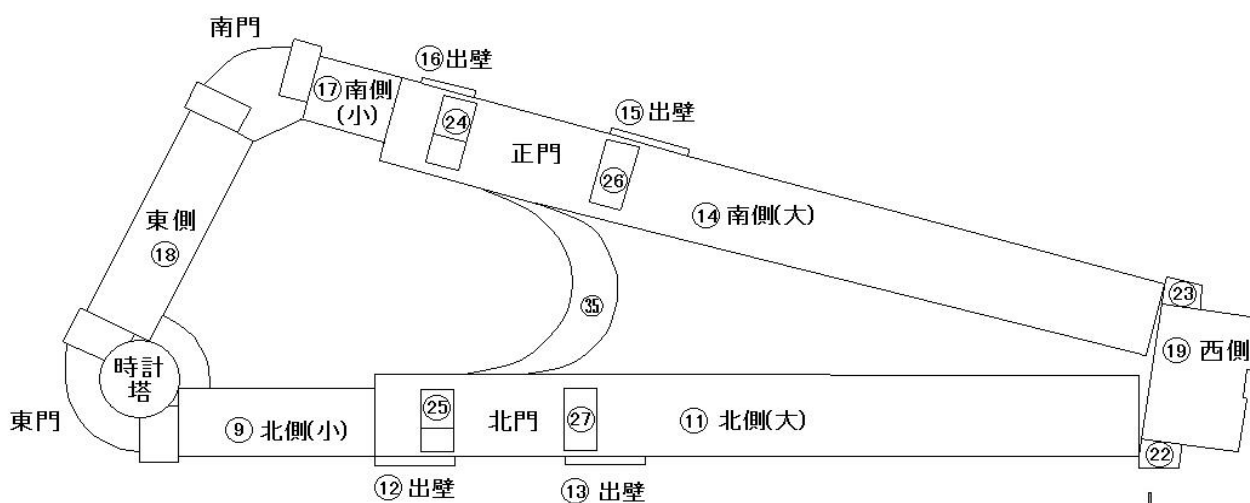


ひさしを取り付ける部分を切り抜く。

使用するもの

ペーパークラフト用紙
カッターナイフ
はさみ
両面テープ(5mm)
のり
ものさし
千枚どおし(竹串など)
カッティングマット
厚紙

見取図



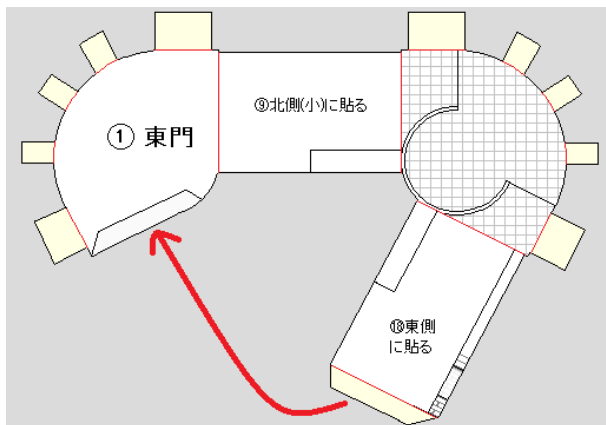
1.各部品を組み立てる

東門

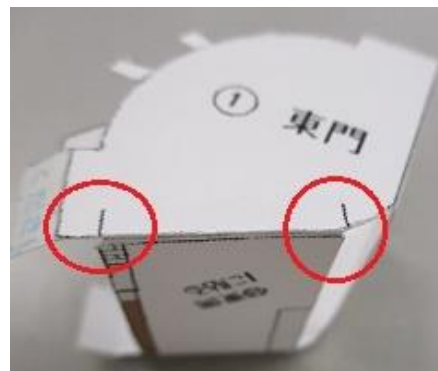
部品 ① ② ②左 ②右 ③ ④

説明 ①東門

全て山折で組み立てる。



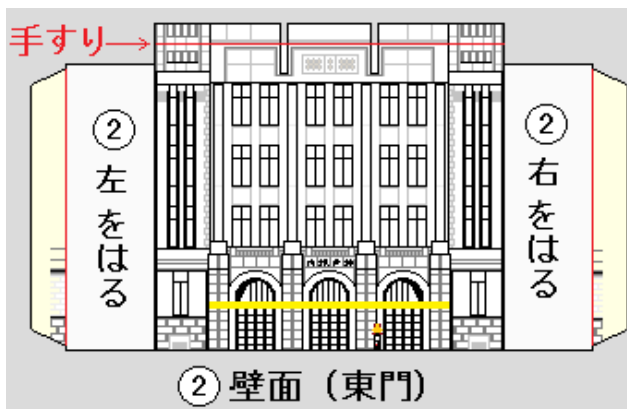
下面の黒い線にあわせてはる。



②壁面（東門）

正面の黄色い部分をカッターでくり抜く。

手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。



丸みを付けておく。

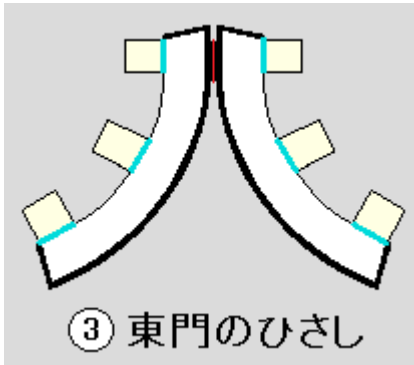


手すりのはり付け方は各部共通。



③東門のひさし

ひさしをはり合わせる。
のりしろは谷折り。



縁を黒マジックで塗る。

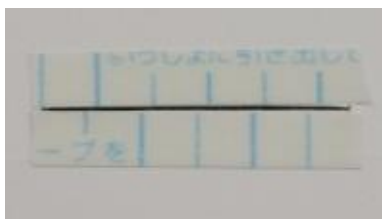


塗装前



塗装後

くり抜いたところにひさしを差し込み、裏に両面テープではり付ける。

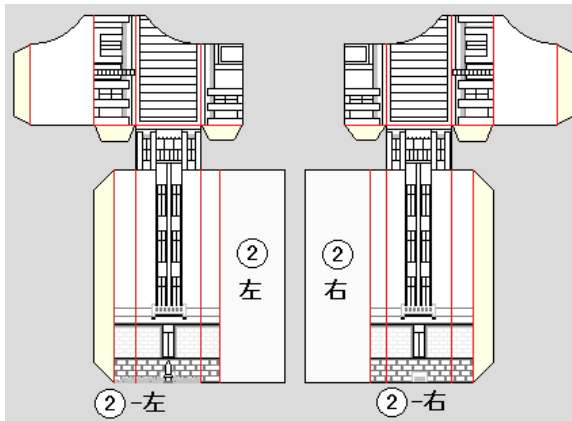


その上からさらに両面テープをはっておく。



②左、②右

全て山折で組み立てる。



①と②を端からはり合わせる。

のりしろは内側に入れる。



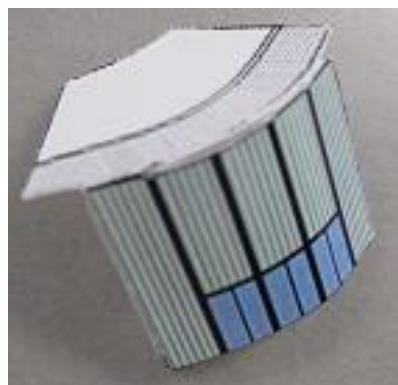
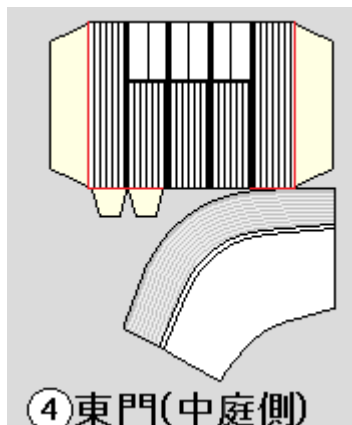
②左と②右をはり付ける。



④東門（中庭側）

全て山折で組み立てる。

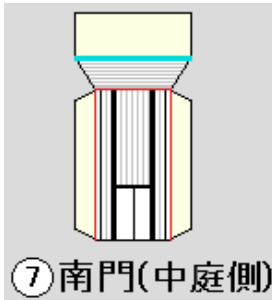
後で東門に取り付ける。



南門

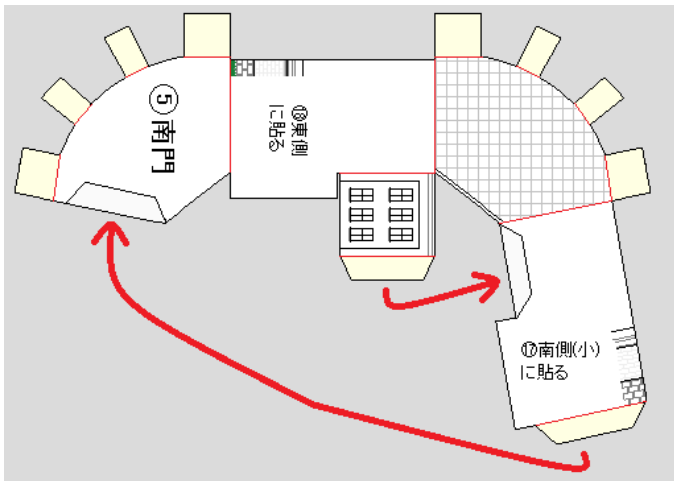
部品 ⑤ ⑥ ⑥左 ⑥右 ⑦ ⑧

説明 ⑦南門（中庭側）

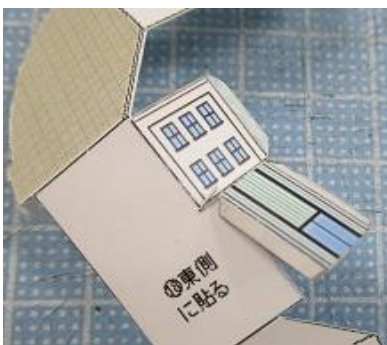


⑤南門

全て山折で組み立てる。
組み立て方は東門と同じ。



⑦をはり付ける。（写真の状態まで。）



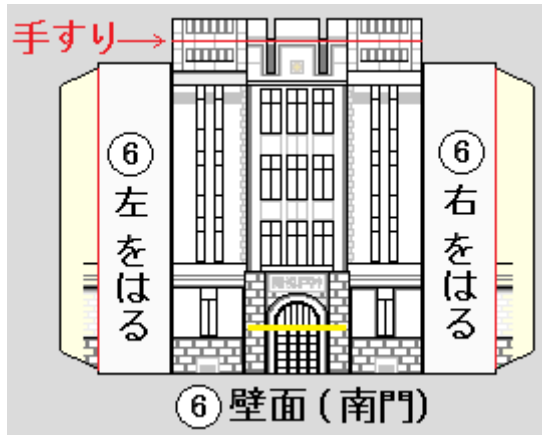
⑧南門のひさし

ひさしをはり合わせる。
のりしろは谷折り。
縁を黒マジックで塗る。



⑥壁面（南門）

正面の黄色い部分をカッターでくり抜く。
手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。
⑧南門のひさしをはり付ける。はり付け方は東門と同じ。

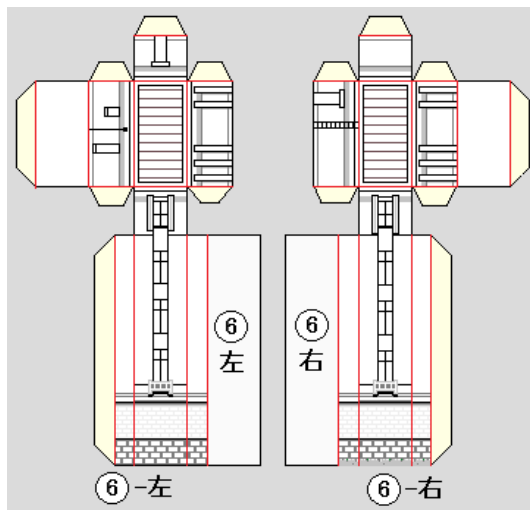


丸みを付けておく。



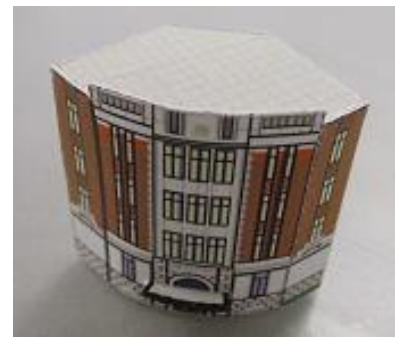
⑥左、⑥右

全て山折で組み立てる。



⑤と⑥を端からはり合わせる。

はり合わせ方は東門と同じ。⑥ののりしろは⑤の壁の中に入れる。
細いもので押さえ付けるとしっかりとつく。



はり合わせたものに⑥左と⑥右をはり付ける。

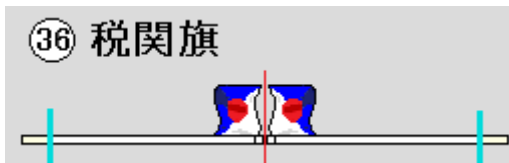
はり付け方は東門と同じ。

時計塔と税関旗

部品 ③⑥ ③⑦

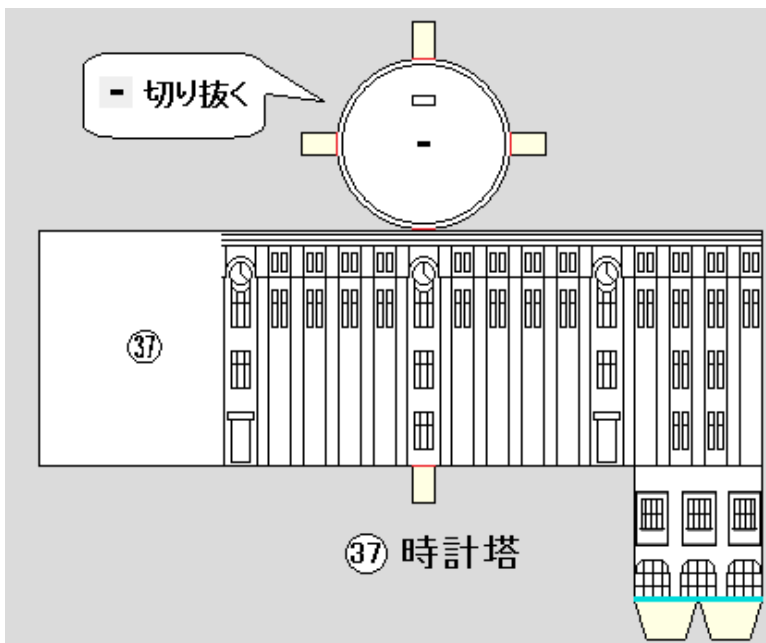
説明 ③⑥税関旗

税関旗をのりではり合わせる。
のりしろは谷折り。



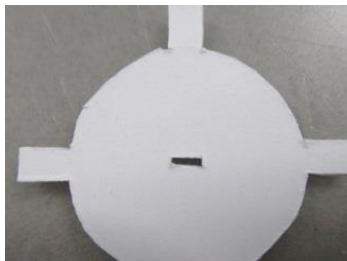
③⑦時計塔

円筒形に組み立てる。



下部ののりしろは
谷折り。

屋根の真ん中の黒い部分を切り抜く。



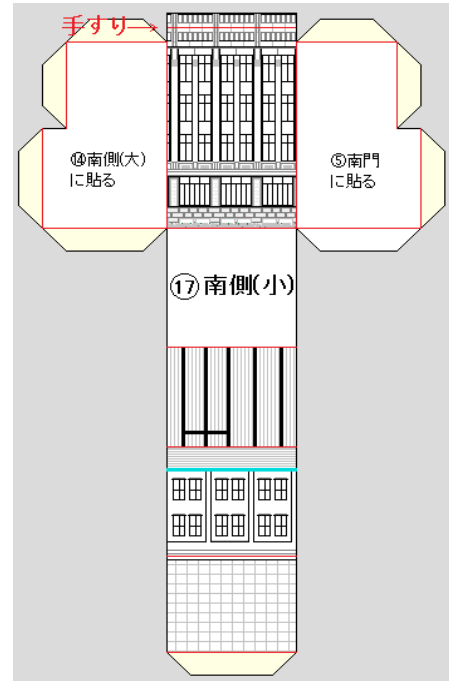
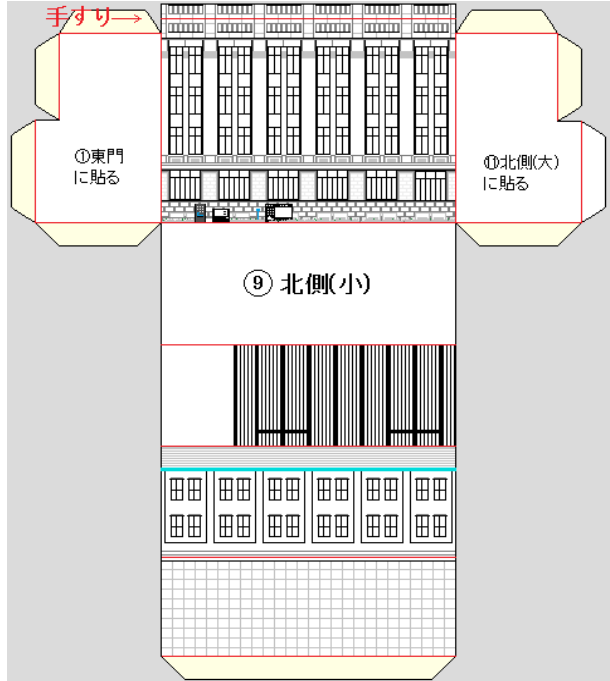
■に税関旗を差し込んで裏で両面テープでとめる。



⑨北側(小)、⑰南側(小)

部品 ⑨ ⑰

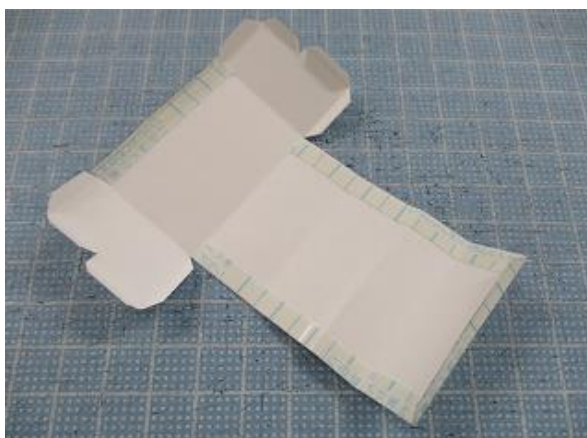
説明 手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。
箱状に組み立てるが、屋根はまだはり合わせない。



手すりが先。



両面テープの位置。



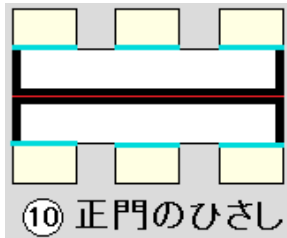
⑩正門のひさし

部品 ⑩

説明 ひさしをはり合わせる。

のりしろは谷折り。

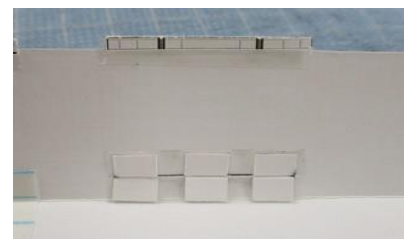
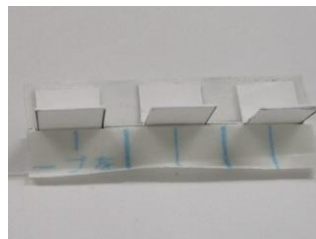
縁を黒マジックで塗る。



⑩ 正門のひさし



⑭南側(大)の裏に両面テープをはり、表からひさしを差し込んではり付ける。



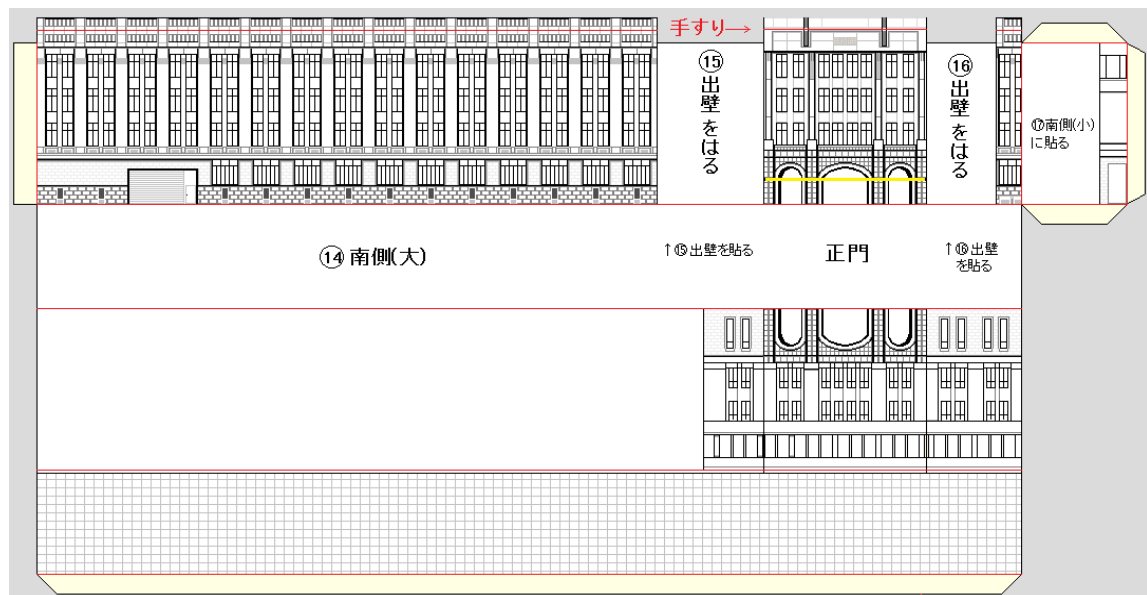
⑪北側(大)、⑭南側(大)

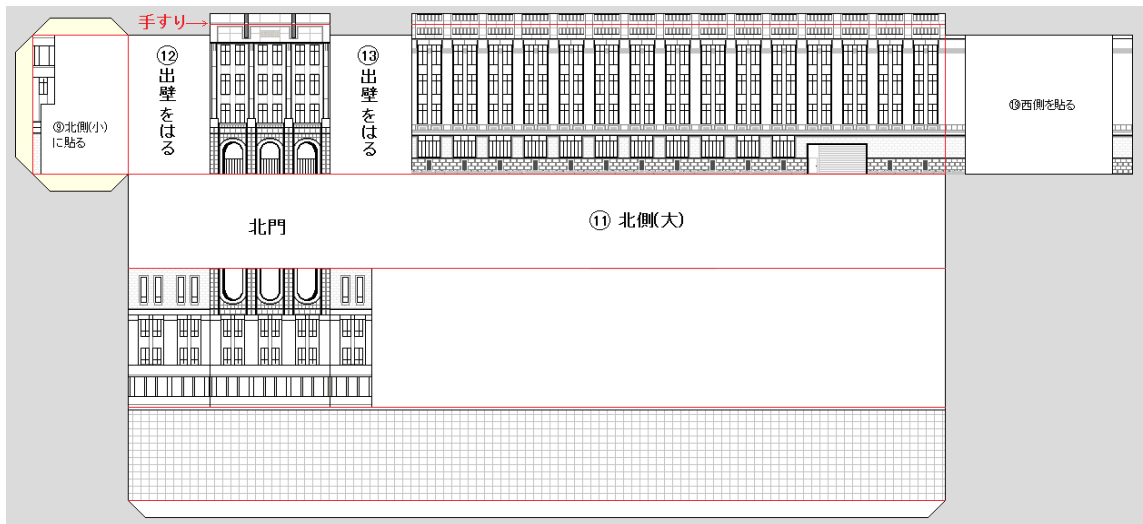
部品 ⑪ ⑭

説明 正門の黄色い部分をカッターでくり抜く。

手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。

くり抜いたところに⑩ひさしを差し込み、裏で両面テープではり付ける。(前記参照)





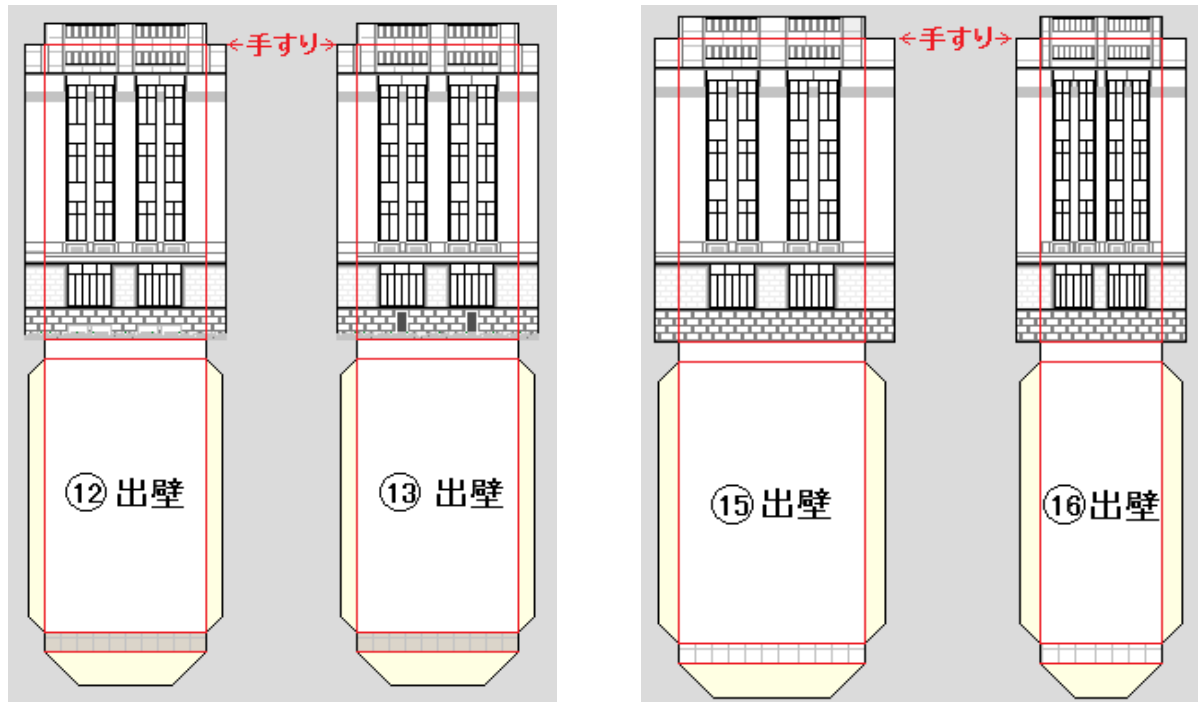
箱状に組み立てるが、屋根はまだはり合わせない。



北側⑫ ⑬、南側⑮ ⑯

部品 ⑫ ⑬ ⑮ ⑯

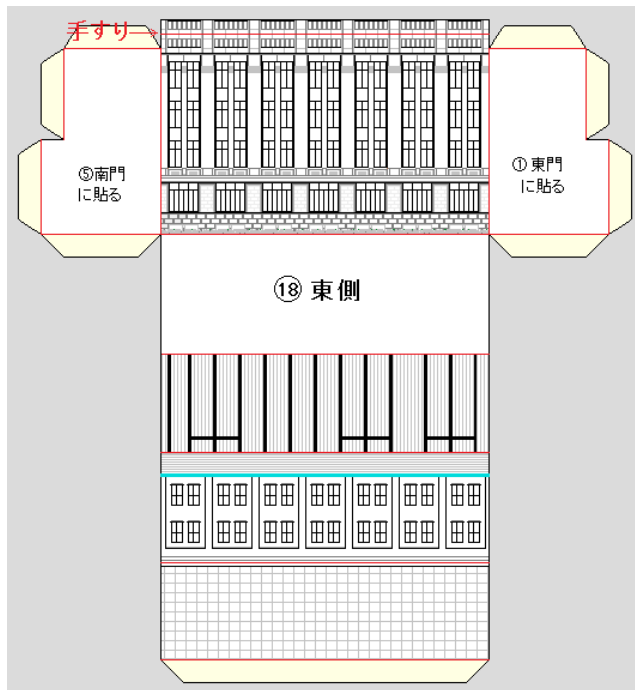
説明 手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。
箱状に組み立てる。
後で⑪北側(大)、⑭南側(大)にはり付ける。



⑱東側

部品 ⑱

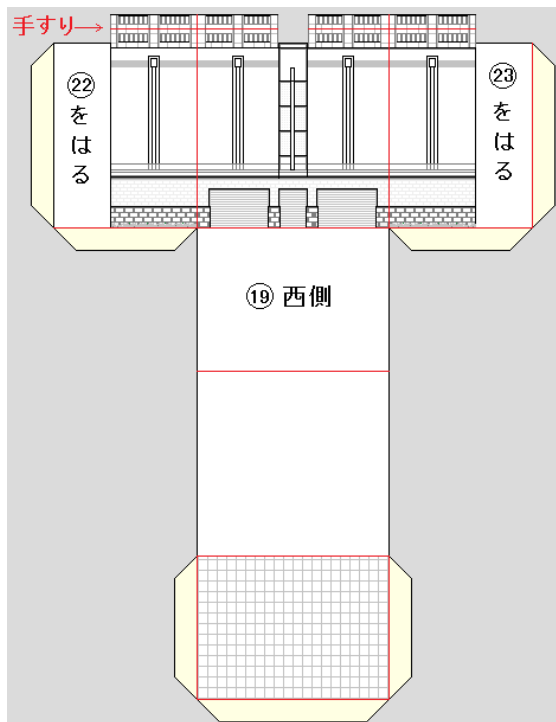
説明 手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。
箱状に組み立てるが、屋根はまだはり合わせない。



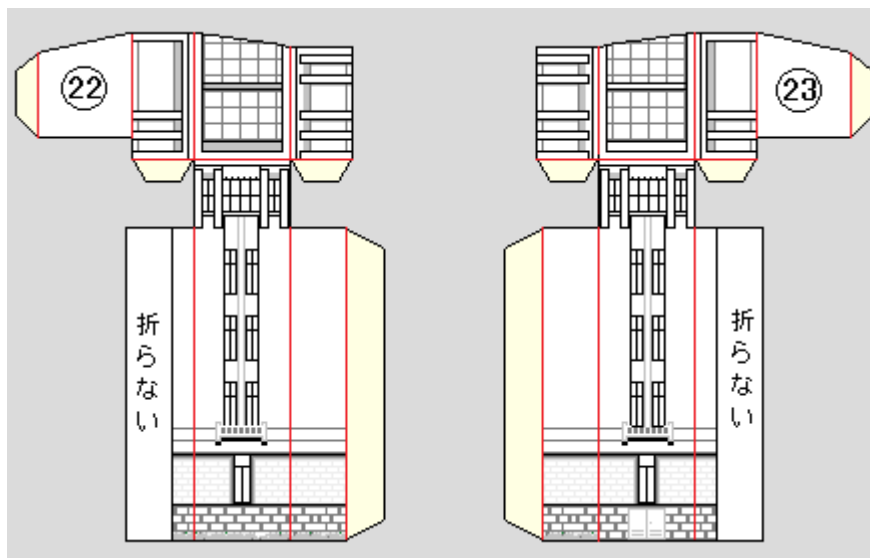
⑲西側

部品 ⑲ ⑳ ㉓

説明 手すりを内側に折り両面テープでしっかりはり合わせる。
箱状に組み立てるが、屋根はまだはり合わせない。



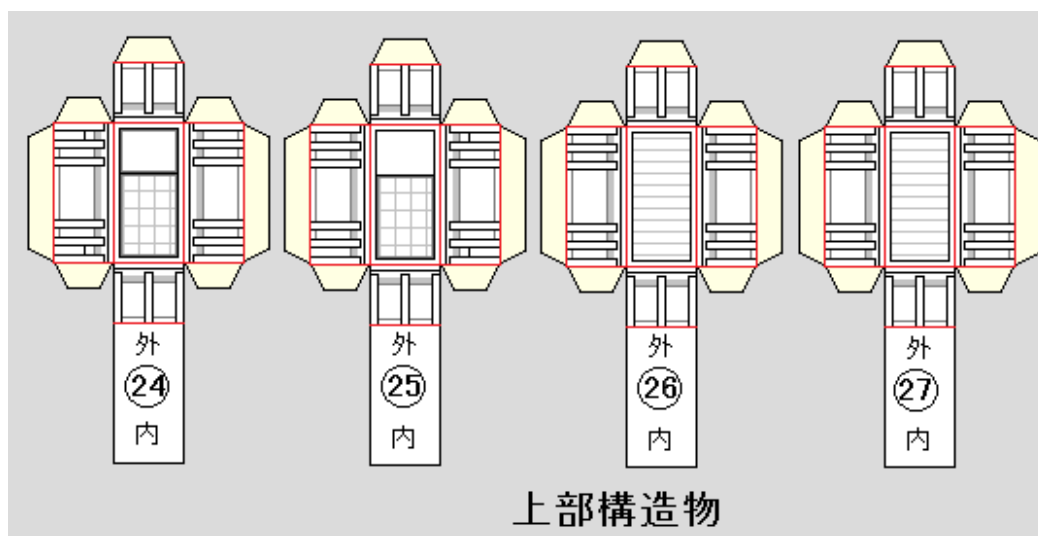
全て山折で組み立てる。



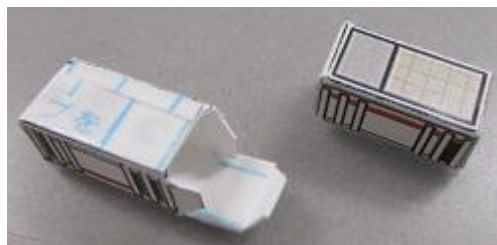
上部構造物

部品 ②④ ②⑤ ②⑥ ②⑦

説明 全て山折で組み立てる。
後で①⑨西側にはり付ける。



長い方からはる。



設備

部品 ④④ ④⑤

説明 ④④を組み立て、④⑤にはり付ける。

